

2023 年度「地方共創プログラム ～地方に学び、自分を知る～」  
参加者募集について

法政大学では、「社会全体の市民教育に貢献し、民主的で力強い持続可能社会を創造する」という方針のもと、教育と研究の成果を社会に還元することによって、社会連携・社会貢献・国際協力を進めています。その中で、社会連携教育センターでは、企業・地方自治体・地域社会と連携した教育プログラムの開発・実施をしており、その1つとして「地方共創プログラム」を行っています。

本プログラムでは、地方自治体から提示されたテーマに対して、地域活性化の貢献に繋がる実現可能なプランを企画・提案します。

学生の皆さんはグループに分かれ、テーマに沿って事前の文献調査を経て、現地フィールドワーク、地方自治体や地元企業へのオンラインインタビュー等を行い、プランの企画を進めます。

地方自治体や地元企業等とのやり取りや具体的な政策提案などの経験は、社会人基礎力の養成に役立ちます。また、所属学部に関わらず参加することができ、多様な学びができることも本プログラムの特徴です。

2023 年度の対象地域は「島根県松江市」です。松江市は本学の初代総理（現在の総長）である梅謙次郎のふるさとであり、松江市と法政大学は連携・協力協定を締結し、様々な取り組みを実施しています。

参加を希望する方は、以下の要領により申請してください。

## 1 募集概要

(1) テーマ 松江市が提示した以下テーマのうち、希望によりいずれか1つをテーマに設定します。  
※参加決定後にテーマの希望を伺い、その希望に基づきグループ分けを行います。

但し、人数調整の結果、希望に沿えない場合もありますのでご了承ください。

- ①「ジオパークを活用した持続可能な社会の実現と SDGs 推進」
- ②「玉造温泉街の「人（ひと）」「コト」「モノ」探求！」
- ③「職人商店街の魅力発信」

(2) 募集期間 2023 年 4 月 28 日（金）～5 月 19 日（金）

(3) 募集人員 20 名程度

2 応募方法 以下のフォームへアクセスし、必要事項を入力の上、申請してください。

※法政大学 Gmail へのログインが必要です。

URL : <https://forms.gle/YjVDS3L8r3gio2R9>

3 応募資格 以下の要件をすべて満たす者としてします。

- (1) 本学学部生（通学課程）・大学院生  
（通信教育部生・科目等履修生、休学等長期に就学を中断している者を除く）
- (2) 地方創生に強い関心を持ち、地域の方々や本プログラムメンバーと協力しながら、プログラムに積極的に取り組むことができる者
- (3) 感染症対策をしたうえで 8 月に予定されている現地フィールドワークに参加できる者（新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、PCR 検査もしくはそれと同程度の検査（抗原検査等）を受け、結果が陰性であることを現地フィールドワーク参加条件とする可能性があります）
- (4) 本プログラム活動中、大学の指示に従うことができる者

#### 4 選考について

応募時に記入された志望理由等に基づき選考を行います。

5 月 24 日（水）までに選考結果を法政大学メールアドレス宛に送付します。メールが届かない場合は、事務局までご連絡ください。

#### 5 活動期間 2023 年 6 月上旬～11 月中旬（予定）

※授業期間中は、学業に支障のない範囲での活動となります。

スケジュール（予定） 詳細は参加者に追って通知します。

5 月 24 日（水）	選考結果通知
6 月 10 日（土） 13：00～15：00（予定）	ガイダンス・キックオフワークショップ 市ヶ谷キャンパスにて対面実施します。
6 月上旬～7 月下旬	グループワーク及び個人ワーク（文献調査等）
7 月中旬～下旬	レクチャー（聞き取り調査・マナー等）
8 月 9 日（水）～11 日（金）	島根県松江市での現地フィールドワーク（2泊3日） 新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、オンラインフィールドワークへ変更する可能性があります。
8 月中旬～9 月下旬	グループワーク・オンラインインタビュー 提案プランの作成、各種調査、オンラインインタビュー先・内容の検討、インタビュー実施
9 月上旬	レクチャー（プレゼンテーションの作法等）
9 月下旬	中間発表会 オンラインにて実施します。
11 月中旬	最終発表会 市ヶ谷キャンパスにて対面にて実施します。

※最終発表会で提案したプランが松江市に採択された場合、プラン実現に向けた活動が最終発表会以降も継続する可能性があります。

## 6 参加費用

対面実施のワークショップ等に際する交通費や、現地フィールドワーク参加に係る費用として、総額 60,000 円程度が必要となります。詳細は参加者にご案内します（現地フィールドワークの概算は以下参照）。

なお、本プログラムには、本学校友会を通じて募った寄付金「地方共創プログラム活動奨励金」により、1 人当たり 30,000 円程度の補助を行う予定です（つまり実質的な費用負担は 30,000 円程度を想定）。

【現地フィールドワーク参加に係る費用参考（航空会社ホームページ等より算出）】

費用想定額 約 58,700 円 ※フィールドワーク日程を 8 月 9 日（水）～8 月 11 日（金）とした場合の目安

内訳：＜航空券代＞羽田空港 ⇒ 出雲空港 約 19,500 円

出雲空港 ⇒ 羽田空港 約 24,200 円

＜宿泊代＞ 2 泊 約 15,000 円

※地方共創プログラム活動奨励金が 1 人当たり 30,000 円の場合、自己負担金額は約 28,700 円となります。

※この他に、現地移動に係る交通費や昼食代等がかかります。

## 7 その他

- (1) 本プログラムは、正課外プログラムのため単位認定はありません。
- (2) 本プログラムの運用において、本学校友会を通じて募った寄付金「地方共創プログラム活動奨励金」が活用されます。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の感染状況等によっては、現地フィールドワークをオンラインフィールドワークに切り替える等、プログラムの内容を変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。また、後日大学が指定する期間内に PCR 検査もしくはそれと同程度の検査（抗原検査等）を受け、結果が陰性であることを現地フィールドワーク参加条件とする可能性があります。条件を満たさない場合は現地フィールドワークに参加できませんので、ご承知おきください。

## 8 実施体制

主 催：法政大学社会連携教育センター

プログラムコーディネーター：高田 朝子

(社会連携教育センター副センター長)

専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科教授

協 力：島根県松江市

## 9 お問い合わせ

法政大学社会連携教育センター（事務局：学務部教育支援課）

Mail : kyoiku@hosei.ac.jp

※メールで問い合わせる場合は、必ず件名を「地方共創プログラムに関して：～」とし、本文には、学生証番号・氏名・所属・学年を明記してください。

以 上

# 2023年度 地方共創プログラム ～地方に学び、自分を知る～

## 島根県松江市

## 参加者募集

地方自治体から提示されたテーマに対して、地域活性化の貢献に繋がる実現可能なプランを企画・提案するプログラムです。

学生の皆さんはグループに分かれ、テーマに沿って事前の文献調査を経て、現地フィールドワーク、地方自治体や地元企業へのオンラインインタビュー等を行い、プランの企画を進めます。2023年度の対象地域は本学初代総理(現在の総長)とかかわりの深い**島根県松江市**です。皆さんのご応募をお待ちしております。

### プログラム概要

- 【テーマ】 松江市が提示した以下テーマからいずれか1つを選択していただきます。  
①「ジオパークを活用した持続可能な社会の実現とSDGs推進」  
②「玉造温泉街の「人(ひと)」「コト」「モノ」探求！」  
③「職人商店街の魅力発信」
- 【活動期間】 2023年6月上旬～11月中旬(予定) 詳細は募集要項を参照
- 【対象】 本学学部生(通学課程)・大学院生
- 【応募資格】 募集要項記載の要件をすべて満たす者  
※過年度本プログラム参加者も応募可能です。
- 【参加費】 対面実施のワークショップ等に際する交通費や、現地フィールドワーク参加に係る費用が必要となります(一部補助あり)。詳細は募集要項を確認してください。
- 【募集人数】 20名程度  
※応募者多数の場合は応募時に記入された志望理由等に基づき選考を行います。
- 【募集期間】 5月19日(金)まで

募集要項・応募方法は社会連携教育センターWebサイトをご確認ください。

URL: [http://www.hoseikyoiu.jp/shakairenkei/topics/index.php?c=topics\\_view&pk=1682494808&target=](http://www.hoseikyoiu.jp/shakairenkei/topics/index.php?c=topics_view&pk=1682494808&target=)



梅 謙次郎

### 島根県松江市とは・・・

国宝「松江城」を擁する、島根県の県庁所在地。城を囲む御堀や情緒溢れる街並みが残ります。初代総理(現在の総長)の梅謙次郎の出身地です。



<お問い合わせ>

法政大学教育開発支援機構 社会連携教育センター  
(事務局:学務部教育支援課)  
MAIL: kyoiku@hosei.ac.jp